

# 平成23年度当初予算 予算要求シート

整理番号 07 - 041

局・課名／ 市民人権局 舢松人権歴史館

(単位 千円)

事業名	舢松人権歴史館管理運営事業			平成21年度決算額	平成22年度予算額	平成23年度要求額	
関連事業	事業費		22,478	17,686	16,780		
	事業期間		S63 ~ H	全体事業費			
事業目的	同和問題の速やかな解決に向けて、歴史を調査・研究し、資料・文献等を収集・保管及び展示して、同和問題の正しい理解と認識を深めるための啓発と学習の場としての利用に供する。			今年度要求のポイント			
				人権学習施設としてより理解が進むよう常設展示の充実、特別展示の充実が必要である。また、リニューアル後5年が経過し、情報検索装置等ハード面の劣化により来館者に十分な情報を提供できないなど経年劣化による不具合が生じてきている。人権学習拠点施設としての役割を果たすため、良好な展示環境を提供する必要がある。それらを踏まえて予算を要求するものである。			
事業内容	堺の被差別部落の歴史をとおして、部落問題を自分の問題として学び、「差別をなくそう」「自分は差別をしない」と決意していただくための施設として、以下の事業をおこなっている。			主な要求内容 (単位：千円)			
<p>1. 展示事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常設展示 「くらし」「しごと」「歴史」「運動」「啓発」及びこの地出身の将棋名人「阪田三吉（「吉」は土に口が正しい）記念室」の各コーナーを設置。 各コーナーにはより深く理解できるよう、情報バインダー・情報検索装置を配置している。</li> <li>・特別展示 年2回開催</li> </ul> <p>2. 催事・イベント事業 特別展示の内容にあわせ人権講演会等開催</p> <p>3. 館内外案内・啓発事業</p> <p>4. 調査研究・資料収集保管業務</p> <p>5. 広報・出版等業務</p>				項目	22年度予算	23年度要求額	内容・積算等
				充実した人権学習施設の提供	17,162	15,941	展示物の製作・展示物にかかる保険料 展示内容にかかる学識者等への謝礼・運営委託等
				良好な展示環境の提供	387	702	展示場照明球、展示物修繕料等
				情報収集	137	137	人権問題に関する情報収集のための旅費等
					合計	17,686	16,780
スケジュール（経過及び今後展開）				その他 特記事項			
【経過（～22年度）】		【23年度】		【今後（～24年度）】			
昭和63年4月舢松歴史資料館として開設。政令指定都市移行の平成18年4月、リニューアルオープンし舢松人権歴史館に改称。常設展示の充実、特別展示の開催など政令指定都市にふさわしい展示施設・人権学習施設としての役割を果たしてきている。また、人件費については行財政改革及び要員管理の観点から大幅な削減を図ってきているところである。		人権ふれあいセンター事業再編の趣旨を踏まえ効果的・効率的な事業運営をおこなう。		人権ふれあいセンター事業再編の趣旨を踏まえ効果的・効率的な事業運営をおこなう。			